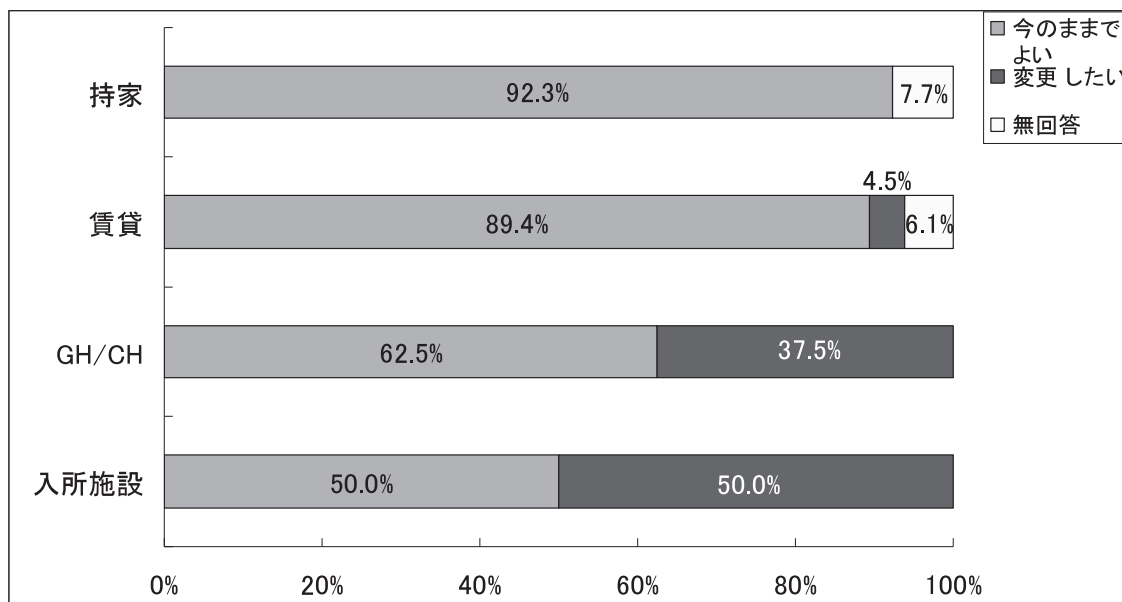


将来の住居については、「持家」「賃貸」の方はそれぞれ、92.3%、89.4%が今のままでよいと回答しているのに対し、「GH/CH」「入所施設」の方はそれぞれ、37.5%、50.0%が住居形態を変えたいと回答している(図表 7-2-4)。

図表 7-2-4 住居形態(現在の住居と将来の希望) 地域生活者のみ



現在の住居	将来の希望							
	今のままでよい	変更したい	無回答	合計	今のままでよい	変更したい	無回答	合計
	人数[人]				割合[%]			
持家	12	0	1	13	92.3	0.0	7.7	100.0
賃貸	59	3	4	66	89.4	4.5	6.1	100.0
GH/CH	15	9	0	24	62.5	37.5	0.0	100.0
入所施設	6	6	0	12	50.0	50.0	0.0	100.0
合計	92	18	5	115	80.0	15.7	4.3	100.0

※各行の合計値を分母として割合を算出した。

以上の内容を踏まえると、支援終了時には GH/CH、入所施設に退院となった方でも、賃貸住宅(一戸建、アパート含む)に徐々に転居する傾向にあると言える。この点については、現在、GH/CH、入所施設に住んでいる方にも同様の傾向があり、将来的には賃貸住宅で暮らしたいと考えている傾向があると考えられる。

(3) 事業利用者の家族

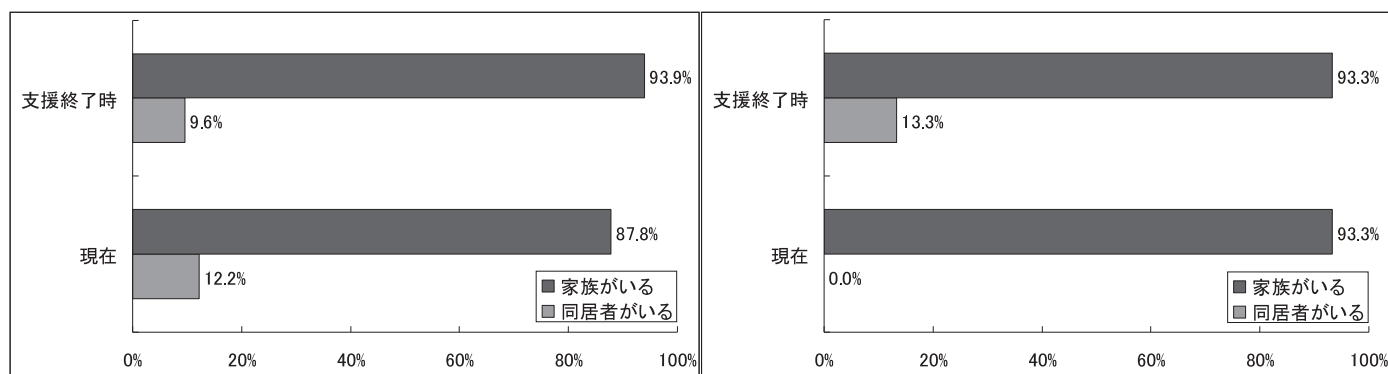
支援終了時において、地域生活者の 93.9%に家族がおり（同居を問わず、存命している家族がいる）、うち、同居していたのは 9.6%であった。また、現在も、87.8%に家族がおり、12.2%が同居している。入院者に関しても、支援終了時に 93.3%に家族がおり、13.3%が同居していた。（図表 7-3-1）。

支援終了時と現在とを比較して、家族がいる割合は若干減少するものの、同居者割合はほぼ変わらなかった。

図表 7-3-1 家族の有無、同居状況（支援終了時と現在の比較）

【地域】

【再入院中】

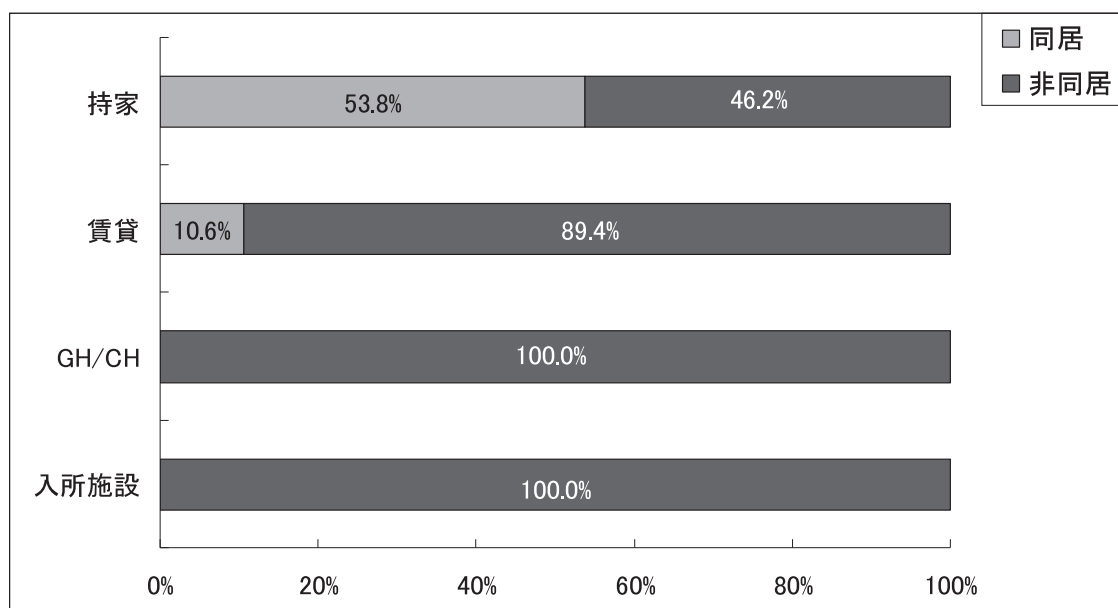


		支援終了時	現在	支援終了時	現在
		人数[人]		割合[%]	
地域	家族がいる	108	101	93.9	87.8
	同居者がいる	11	14	9.6	12.2
再入院中	家族がいる	14	14	93.3	93.3
	同居者がいる	2	-	13.3	-

※それぞれ「いる」と回答した方の人数、割合を算出した(分母は地域生活者 115 人、入院者 15 人)。

住居形態と家族同居状況の関係をみると「持家」の場合、53.8%が同居し、「賃貸」の場合は10.6%が同居している(図表 7-3-2)。

図表 7-3-2 住居形態と家族同居状況の関係 地域生活者のみ



現在の住まい	同居状況(現在)					
	同居	非同居	合計	同居	非同居	合計
	人数[人]			割合[%]		
持家	7	6	13	53.8	46.2	100.0
賃貸	7	59	66	10.6	89.4	100.0
GH/CH	0	24	24	0.0	100.0	100.0
入所施設	0	12	12	0.0	100.0	100.0
合計	14	101	115	12.2	87.8	100.0

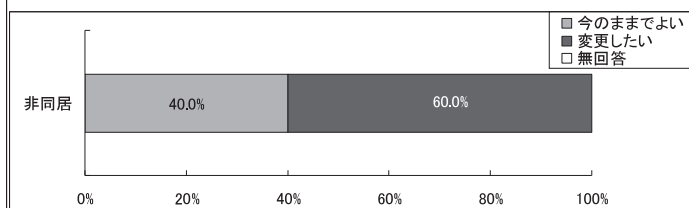
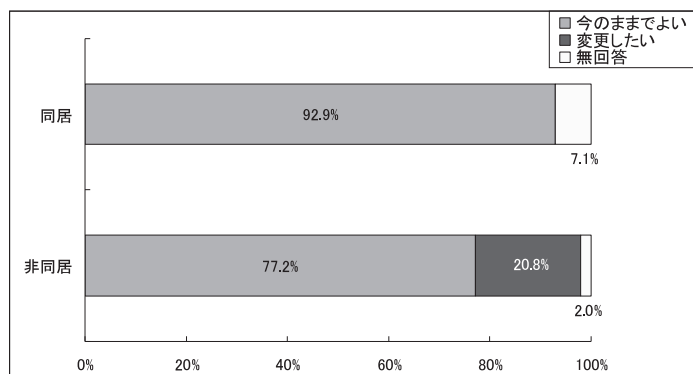
※各行の合計値を分母として割合を算出した。

また、家族との同居状況について、現状と将来の希望を整理すると、地域生活者においては、家族と同居している方の92.9%、同居していない方の77.2%が今のままでよいとしている。(図表 7-3-3)。つまり、現在家族と同居している方は今後も家族と生活したいと考えており、非同居の方もそのまま継続して家族との同居をしないで生活したいと考えていると言える。

図表 7-3-3 家族同居状況(現状と将来の希望)

【地域】

【再入院中】



現在の 家族との同居状況			将来の希望			
			今のままでよい	変更したい	無回答	合計
地域	同居	人数 [人]	13	0	1	14
	非同居		78	21	2	101
再入院中	同居		-	-	-	-
	非同居		6	9	0	15
地域	同居	割合 [%]	92.9	0.0	7.1	100.0
	非同居		77.2	20.8	2.0	100.0
再入院中	同居		-	-	-	-
	非同居		40.0	60.0	0.0	100.0

※各行の合計値を分母として割合を算出した。

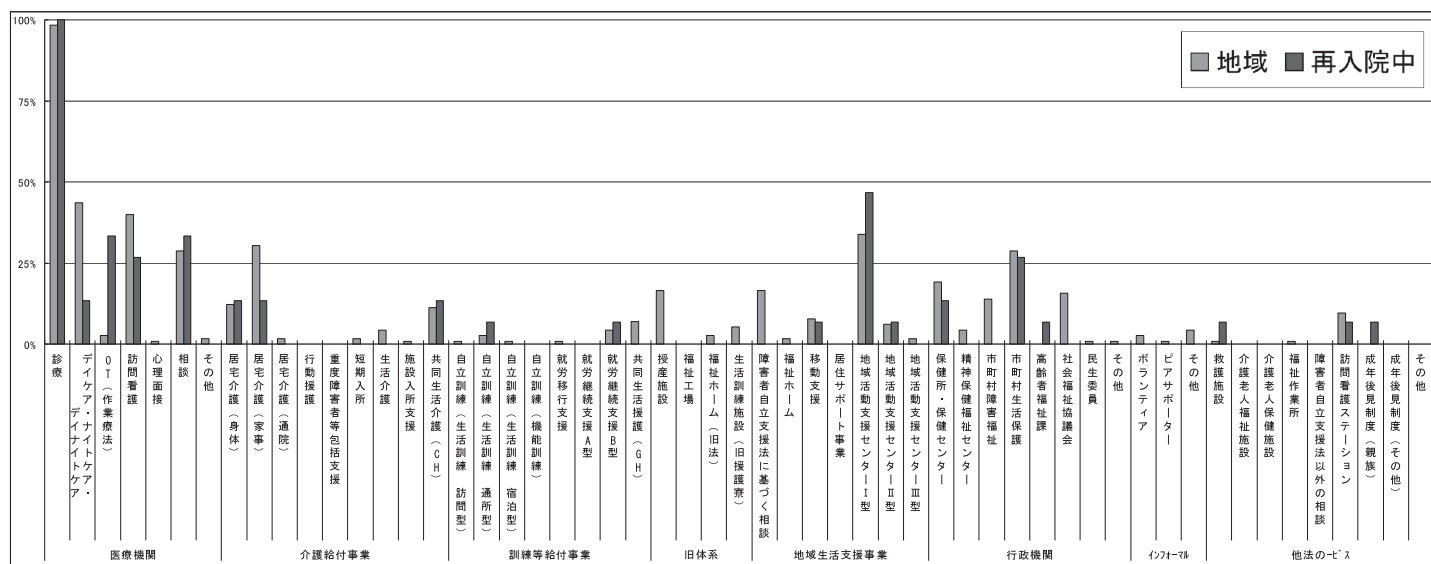
(4) 事業利用者への支援

① 支援の現状

現在、事業利用者が活用している支援を「医療・福祉サービス(図表 7-4-1)」、「金銭管理(図表 7-4-2)」、「服薬管理(図表 7-4-3)」、「食事管理(図表 7-4-4)」に分類して整理した。

地域生活者における「医療・福祉サービス」の担い手は、医療機関の「診療」に関する支援が 98.3% であり、ほぼすべての方が利用している。その他、利用している割合が多い順に整理すると¹⁴、医療関連機関の支援である「デイケア・ナイトケア・デイナイトケア(43.5%)」「訪問看護(40.0%)」、地域生活支援事業である「地域活動支援センター I 型(33.9%)」、介護給付事業関連の支援である「居住介護(家事)(30.4%)」、行政の支援である「市町村生活保護(28.7%)¹⁵」、医療関連機関の支援である「相談(28.7%)」が挙げられた(図表 7-4-1)。医療機関の診療を軸として支援全体が成立している状況がうかがえる。

図表 7-4-1 現在の支援形態(医療・福祉サービス)(複数回答)



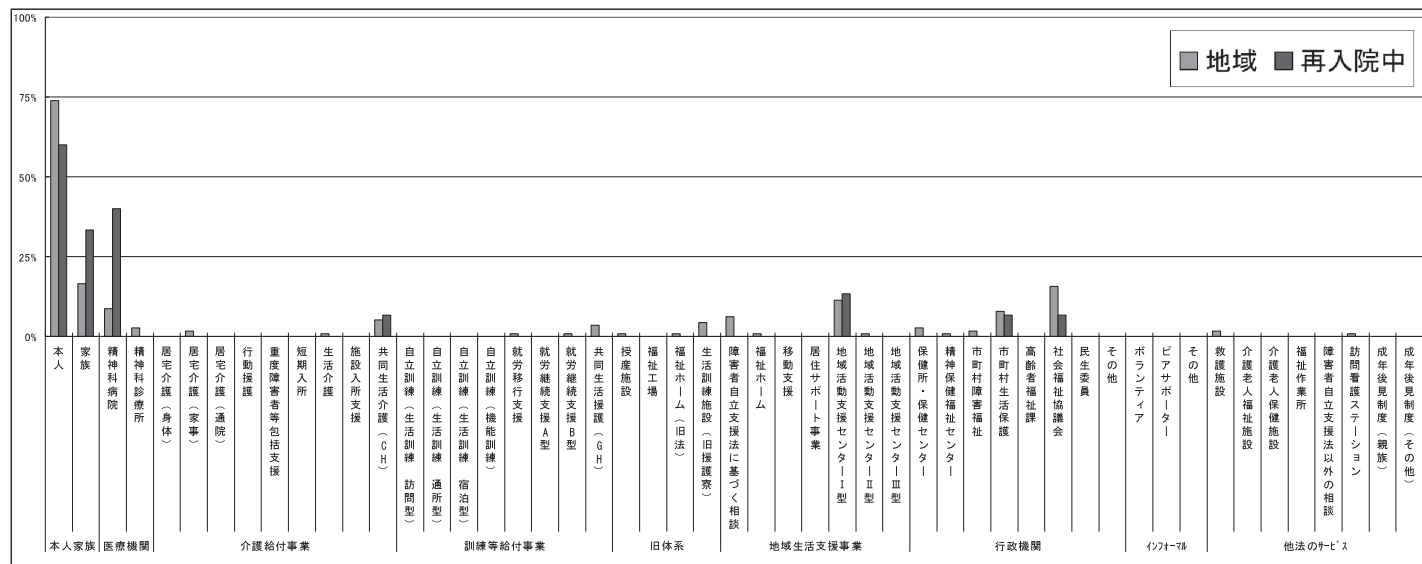
※それぞれ「支援を受けている」と回答した人の人数、割合を算出した(分母は地域生活者 115 人)。

¹⁴ 20%以上の事業利用者が活用しているものを目安にピックアップしている。

¹⁵ 収入における生活保護の利用率から推測すると、支援として受けている実際の割合はもう少し高いと考えられる。

「金銭管理」については 73.9%が「本人」自らが管理しているという結果であった¹⁶。次いで、「家族(16.5%)」「社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)(15.7%)」が続いた(図表 7-4-2)。いずれにしても、本人で管理している割合が高い。

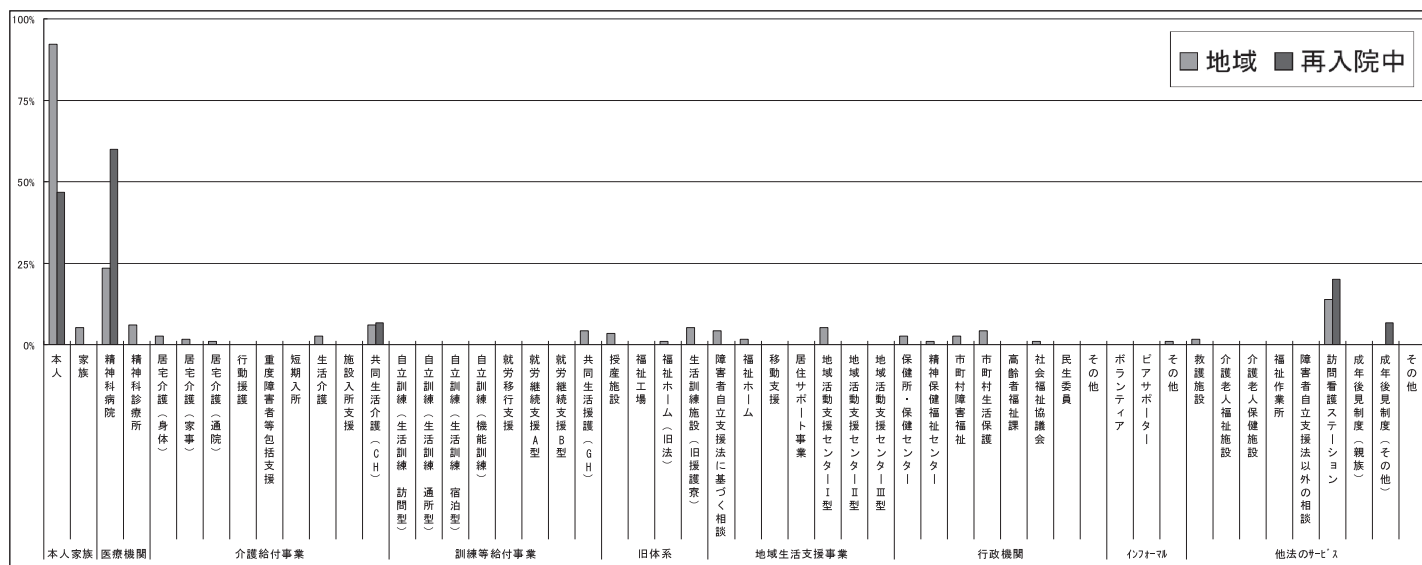
図表 7-4-2 現在の支援形態(金銭管理)(複数回答)



※それぞれ「支援を受けている」と回答した人の人数、割合を算出した(分母は地域生活者 115 人、入院者 15 人)。

「服薬管理」については 92.2%が「本人」自らが管理しているという結果であった¹⁷。次いで、「精神科病院(23.5%)」「訪問看護ステーション(13.9%)」が続いた(図表 7-4-3)。大多数の方が服薬管理について自ら管理していると言える。

図表 7-4-3 現在の支援形態(服薬管理)(複数回答)



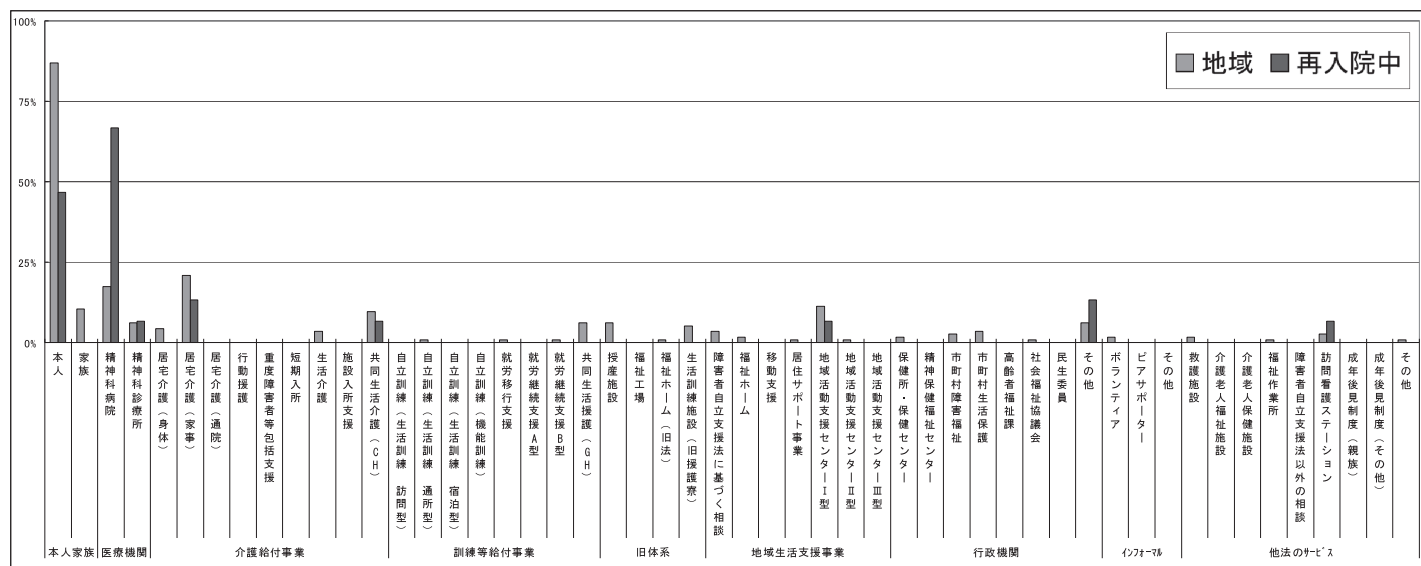
※それぞれ「支援を受けている」と回答した人の人数、割合を算出した(分母は地域生活者 115 人、入院者 15 人)。

¹⁶主たる支援者に関する質問に関しても同様の回答結果であった。金銭管理について「本人」の次に多いのが「行政機関などの支援」であった。

¹⁷主たる支援者に関する質問に関しても同様の回答結果であった。

「食事管理」については 87.0%が「本人」が自ら管理しているとしている¹⁸。次いで、「居宅介護(家事)」(20.9%)「精神科病院(17.4%)」「地域活動支援センターⅠ型(11.3%)」と続いた(図表 7-4-4)。食事に関しても基本的には本人自ら行っていると言える。なお、行政機関などのサービスにおける「その他(6.1%)」の内訳はすべて「配食サービス」であった。

図表 7-4-4 現在の支援形態(食事管理)(複数回答)



※それぞれ「支援を受けている」と回答した人の人数、割合を算出した(分母は地域生活者 115 人、入院者 15 人)。

一方、入院者は「精神科病院」での支援が中心であり、金銭管理は「本人(60.0%)」「精神科病院(40.0%)」「家族(33.3%)」「地域活動支援センターⅠ型(13.3%)」となっており、地域生活者と比べ支援者が分散している。服薬管理については「精神科病院(60.0%)」「本人(46.7%)」「訪問看護ステーション(20.0%)」であり、食事管理については「精神科病院(66.7%)」「本人(46.7%)」となった。

¹⁸前出の注釈に同じ

次に、地域生活者が利用する割合が多い支援内容を抽出し、その組合せについて分析した(図表 7-4-5)。全体を鳥瞰すると「デイケア・ナイトケア・デイナイトケア」「訪問看護」「相談(医療機関実施)」「居宅介護(家事)」のそれぞれの組合せで実施されることが多いようであった(10%を超えて利用されている)。また、上記組合せのうち「デイケア・ナイトケア・デイナイトケア」を除く、「訪問看護」「相談(医療機関実施)」「居宅介護(家事)」と「地域活動支援センターⅠ型」の組合せも 10%を超えて利用されている。また、「地域活動支援センターⅠ型」と「保健所・保健センター」の組合せ、「居宅介護(家事)」と「社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)」の組合せも 10%を超えて利用されている。なお、金銭管理、服薬管理、食事管理についてはこのような特徴は特に見られなかった。

以上を整理すると、地域生活者は通院を基本とする支援を受けながら、金銭、服薬、食事といった基本的な事柄は自ら管理して生活を送っていると言うことができる。一方、入院者は金銭、服薬、食事といった管理を自ら行っている場合とそうでない場合とにほぼ同数程度分かれているのが現状である。

また、「デイケア・ナイトケア・デイナイトケア」「訪問看護」「相談(医療機関実施)」といった医療機関が提供する支援と「居宅介護(家事)」といった生活への支援を組合せた支援をもとに支援がなされていると言うことができ、人によってはそれに「地域活動支援センターⅠ型」をプラスして、生活の充実を図っていると言うことができる。

なお、中には「就労移行支援」を活用して就労に向けた活動を行っている方(1 人)もおり、退院することで就労を含めた生き方の選択肢の幅の広がりもうかがうことができる。

図表 7-4-5 現在の支援の組合せ¹⁹ 地域生活者のみ

表側利用者数[人]		同時に支援している組合せ[人]							
		訪問看護	(医療機関実施) 相談	居宅介護 (家事)	授産事業	相談支援事業所	支援センターⅠ型 地域活動	保健所・ 保健センター	社会福祉協議会
デイケア・ナイトケア・ デイナイトケア	50	22	16	16	9	3	11	3	4
訪問看護	46		16	15	6	6	22	11	10
相談(医療機関実施)	33			13	4	7	13	7	8
居宅介護(家事)	35				4	8	17	6	12
授産事業	19					4	6	4	2
相談支援事業所	19						11	7	7
地域活動支援センターⅠ型	39							12	11
保健所・保健センター	22								3
社会福祉協議会	18								
		同時に支援している組合せ[%]							
		訪問看護	(医療機関実施) 相談	居宅介護 (家事)	授産事業	相談支援事業所	支援センターⅠ型 地域活動	保健所・ 保健センター	社会福祉協議会
デイケア・ナイトケア・ デイナイトケア		19.1	13.9	13.9	7.8	2.6	9.6	2.6	3.5
訪問看護			13.9	13.0	5.2	5.2	19.1	9.6	8.7
相談(医療機関実施)				11.3	3.5	6.1	11.3	6.1	7.0
居宅介護(家事)					3.5	7.0	14.8	5.2	10.4
授産事業						3.5	5.2	3.5	1.7
相談支援事業所							9.6	6.1	6.1
地域活動支援センターⅠ型								10.4	9.6
保健所・保健センター									2.6
社会福祉協議会									

※それぞれ「あり」と回答した方の人数、割合を算出した(分母は地域生活者 115 人)。

¹⁹ 入院している方は基本的に精神科病院での支援(= 入院中)のみであるため割愛した。

② 支援内容に関する希望

現在受けている支援を将来どうしたいかについて整理したのが図表 7-4-6、図表 7-4-7、図表 7-4-8 である。

地域生活者の場合、金銭管理では 87.6%が、服薬管理では 96.7%が、食事管理では 92.4%が「今のままで良い」と回答している。このことから、地域生活者は現在の支援内容を変更しようという考えはあまり持っていないと考えられる。推察するに、自分で生活全般を管理できているので、あえてそれを変更する必要はないと考えているのではないだろうか。ただし、金銭管理について、家族が主に支援を行っている場合、支援主体を変えたいと考えている方が 30.0%存在している。自由記述によると、今後は自分で管理したいとの内容であった。

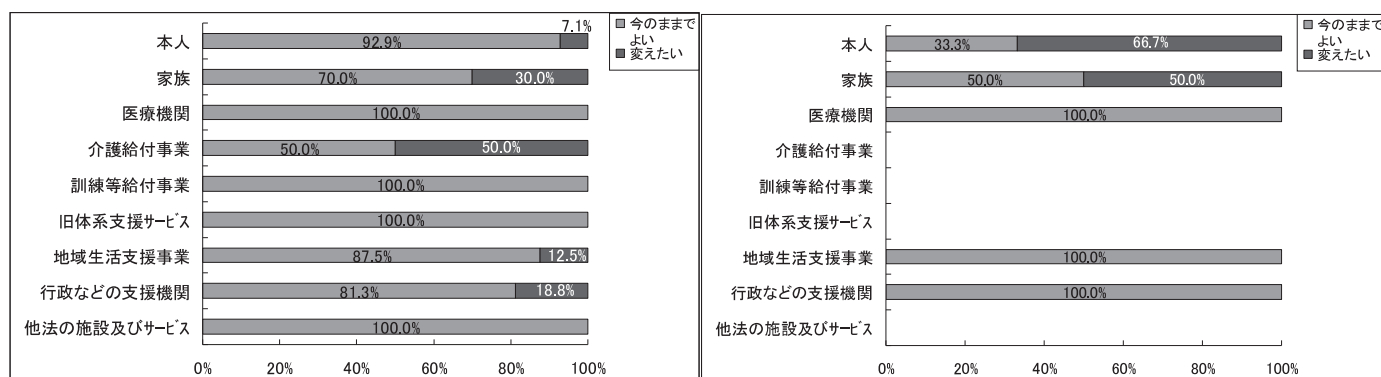
一方、入院者の場合、本人が自分の管理を変えたいと回答している方の割合が金銭管理の場合は 66.7%、服薬管理の場合は 25.0%、食事管理の場合は 40.0%となっていた。

以上の内容を踏まえると、多くの方は現在の支援の在り方を変更しようとはあまり思っていないとすることができる。その理由としては金銭、服薬、食事管理等が概ね自分でできており、あえて変更する必要はないと考えているためと推測される。

図表 7-4-6 主たる支援者の変更希望(現在と将来の希望)(金銭管理)

【地域】

【再入院中】



		現在の 主たる支援者 [人]	支援主体の変更			
			今のままでよい		変えたい	
			人数[人]		割合[%]	
地域	本人	42	39	3	92.9	7.1
	家族	10	7	3	70.0	30.0
	医療機関	4	4	0	100.0	0.0
	介護給付事業	2	1	1	50.0	50.0
	訓練等給付事業	1	1	0	100.0	0.0
	旧体系支援サービス	3	3	0	100.0	0.0
	地域生活支援事業	8	7	1	87.5	12.5
	行政などの支援機関	16	13	3	81.3	18.8
	他法の施設及びサービス	3	3	0	100.0	0.0
	合計	89	78	11	87.6	12.4
再入院中	無回答	26	-		-	
	本人	3	1	2	33.3	66.7
	家族	4	2	2	50.0	50.0
	医療機関	4	4	0	100.0	0.0
	介護給付事業	0	0	0	0.0	0.0
	訓練等給付事業	0	0	0	0.0	0.0
	旧体系支援サービス	0	0	0	0.0	0.0
	地域生活支援事業	2	2	0	100.0	0.0
	行政などの支援機関	1	1	0	100.0	0.0
	他法の施設及びサービス	0	0	0	0.0	0.0
	合計	14	10	4	71.4	28.6
	無回答	1	-		-	

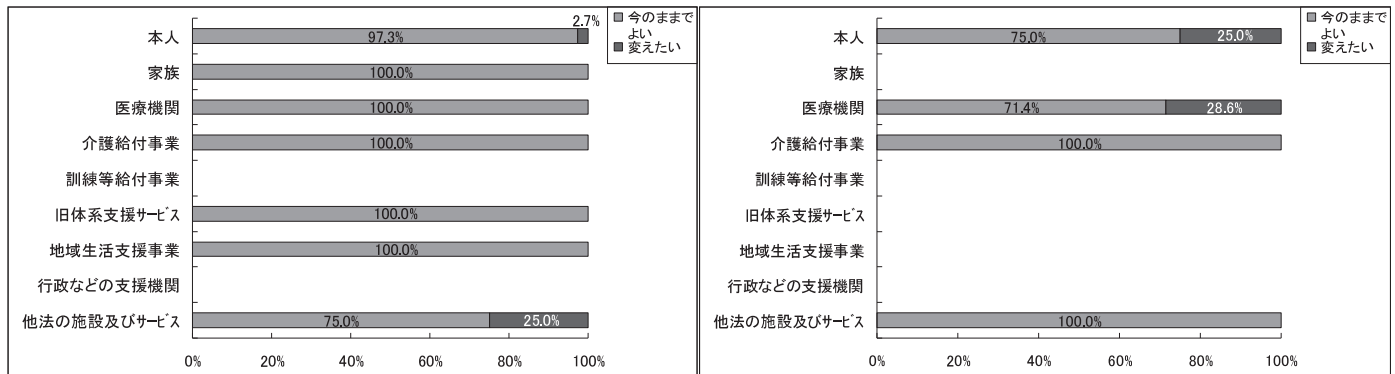
※各行の合計値を分母として割合を算出した。

※四捨五入の関係で、「割合」の和は100.0%にならない。

図表 7-4-7 主たる支援者の変更希望(現在と将来の希望)(服薬管理)

【地域】

【再入院中】



		現在の 主たる支援者 [人]	支援主体の変更			
			今のままでよい		変えたい	
			人数[人]		割合[%]	
地域	本人	73	71	2	97.3	2.7
	家族	3	3	0	100.0	0.0
	医療機関	3	3	0	100.0	0.0
	介護給付事業	1	1	0	100.0	0.0
	訓練等給付事業	0	0	0	0.0	0.0
	旧体系支援サービス	4	4	0	100.0	0.0
	地域生活支援事業	3	3	0	100.0	0.0
	行政などの支援機関	0	0	0	0.0	0.0
	他法の施設及びサービス	4	3	1	75.0	25.0
	合計	91	88	3	96.7	3.3
再入院中	無回答	24	-		-	
	本人	4	3	1	75.0	25.0
	家族	0	0	0	0.0	0.0
	医療機関	7	5	2	71.4	28.6
	介護給付事業	1	1	0	100.0	0.0
	訓練等給付事業	0	0	0	0.0	0.0
	旧体系支援サービス	0	0	0	0.0	0.0
	地域生活支援事業	0	0	0	0.0	0.0
	行政などの支援機関	0	0	0	0.0	0.0
	他法の施設及びサービス	2	2	0	100.0	0.0
	合計	14	11	3	78.6	21.4
	無回答	1	-		-	